

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介します!!

ながさきメーカー

# 長崎 maker

今月のmaker

長崎都市・景観研究所ヌル(null)

若者たちが、長崎に新たな価値を創り出す「まちのデザイン」の提案や、長崎で暮らすことの楽しさを知るための企画に取り組んでいます。



平成22年4月に設立された長崎都市・景観研究所 (null) は、長崎のデザインの話題をまとめたミニ専門誌「ナガサキデザインニュース」の発行や、まちなかの価値ある可愛いヒト・モノ・コトを探して紹介する「カワイイ採集大冒険」など、さまざまな取り組みを行っています。

「長崎のまちづくりに興味があったから」「何だか面白いことをやっていて楽しそうだったから」など、nullに参加したきっかけはさまざま。毎週の会合が意見交換だけでなくそのまま食事会になるなど、出会いや交流を本当に楽しんでいます。

nullの現在の取り組みの一つが、「出島つながるプロジェクト」。現在整備中の出島表門橋・中島川公園の工事用仮囲いパネルに、市民の皆さんの「出島にまつわる思い出」「将来の出島への想い」などを写真とともに掲載する取り組み



仮囲いへの掲載を希望される場合は、1月15日(金)までに「出島復元整備室」(☎829-1194)にお申し込みを!

を、出島復元整備室や設計を担当する事業者と協働して行っています。

「もっと多くの人が出島を利用して長崎を楽しめるよう、仮囲いをはじめいろんなチャレンジをしたい」と、nullの皆さんは熱く語ってくれました。

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

## はたらきひと 輝く働き人



信栄工業有限会社  
こじょう 功一朗 さん

搬送用機械などさまざまな機械の設計・製作から、組立・据付・アフターサービスまで一貫して行う。電動手すりや電動自動車など、自社製品の開発にも積極的に取り組んでいる。古城さんは入社3年目。

### Q1. この企業に就職した理由は?

昔からものづくりが好きだったので、機械の設計開発や製作に携わることができる企業を探していました。当初は県外企業を考えて就職活動していたところ、社長から「自社製品の設計開発を進め、長崎の製造業をリードする企業になりたい」という話を聞き、ここなら多種多様なものづくりに関わることができる、と思ったからです。



設計、製作、両方いけます

### Q2. 担当業務は? どんな時に達成感を感じますか?



十人町で社会実験中である「電動手すり」の開発にも関わっています

依頼を受けた機械の新規設計、既存機械の改良設計から、製作、据付、メンテナンスまで行っています。

価格や納期設定などお客さまの要望に応えるべく、従業員同士で話し合いを重ね、製作コストや技術面でのすり合わせ、製作工程の調整を行います。その後の部品発注、製作、納品まで全ての工程で苦労はありますが、無事納品を済ませ、機械の正常運転を確認できたときの達成感はひとしおです。

### Q3. 職場の雰囲気は? また、今後の目標は?

ほぼ全ての作業を従業員全員で行うので、上司と部下、先輩後輩関係なく気軽に相談や会話ができる職場だと思います。

まずは、目の前の仕事をこなして徐々に経験値を上げつつ、新しい知識・技術も貪欲に吸収していきたいです。



一致団結してゴールを目指します